

## 【青森県】

現在の景気：震災の影響が薄れつつあるなか、緩やかな持ち直しが続いている。

3か月程度の見通し：復興需要を背景に緩やかな持ち直しの動きが続くとみられている。

個人消費：持ち直し。2月の乗用車販売は、普通乗用車、小型乗用車、軽乗用車ともに大幅に増加し、全体では前年比30.3%増と6か月連続で増加。大型小売店販売（速報値）は、百貨店販売が12か月連続で減少、スーパー販売が5か月連続で増加し、全体では前年比1.5%減と3か月連続で減少。

住宅建築：足許増加。2月の住宅着工戸数は、主力の持家が前年比10.4%減と3か月連続で減少、貸家が5.7%減と5か月ぶりに減少したものの、分譲住宅が320.0%増と大幅に増加し、全体では前年比22.5%増と2か月連続で増加。

設備投資：一進一退。みちのく銀行の県内企業景況調査（1月実施）によると、2011年10-12月期の設備投資実施割合は、前期（2011年7-9月期）比1.8ポイント低下し33.9%、前年同期（2010年10-12月期）比8.3ポイント上昇。一方、日本銀行青森支店の調査によると、2012年度の設備投資計画は、製造業が前年度比44.8%減少、非製造業が6.9%減少し、全産業では前年度比36.4%減少。震災復旧関連投資の反動などから大幅に下回る見通し。

公共工事：持ち直し。2月の公共工事請負額は、独立行政法人等が7か月連続で減少したものの、国が7か月連続で増加、県が6か月連続で増加、市町村が3か月連続で増加し、全体では前年比11.5%増と3か月連続で増加。

輸出：低調。2月の県内通関輸出額は、韓国・台湾向けの鉄鋼、中国・ベトナム向けの魚介類が増加したものの、精密機器、オランダ・アラブ向けの一般機械が減少し、全体では前年比9.2%減と3か月連続で減少。

生産活動：やや一服感。1月の鉱工業生産指数（季調済）は前月比3.6%低下し98.3と2か月連続で低下。鉄鋼、パルプ・紙・紙製品が持ち直しの動き、電気機械が増勢鈍化。原指数は前年比6.6%低下し89.2と2か月連続で低下。

観光：低調。2月の県内観光施設（36施設）の入込客数は、豪雪、低温などの影響から、全体では前年比23.4%減少。宿泊施設（56施設）の宿泊客数は前年比2.1%減少。

雇用情勢：上向き。2月の有効求人倍率（季調済）は前月比0.03ポイント上昇し0.55倍と6か月連続で上昇。復興需要から建設業が増加したほか、水産加工業も求人が増加。

### （トピックス）

3月19日、観光庁は訪日外国人が観光しやすい環境を整備するため、訪問者が多い「戦略拠点」に全国から5地域を選定し、さらに今後訪問者の増加が見込まれる「地方拠点」に本県の「弘前」を含む14地域を選定。各拠点では国が費用を負担し、多言語のパンフレットや案内板を整備したり、交通の利便性に配慮したモデルコースを策定するなどして、外国人観光客の満足度を高める。

4月6日、東宝は、実現不可能と言われたリンゴの無農薬栽培を成功させた弘前市のリンゴ生産者・木村秋則氏の半生を描く映画を製作すると発表。タイトルは「奇跡のリンゴ」で、地元弘前市を中心に撮影し、2013年に全国公開を予定。

## < 主要産業の動向 - 青森県 - >

リンゴ:2011年県産リンゴの2月の県外出荷量は前年比26.8%減の2万5,365t、前3か年の2月平均出荷量を29.8%下回る低水準。消費地市場価格は全種平均で前年比48.1%上昇し351円/kg、前3か年の2月平均価格を56.0%上回る。県外市場販売額は前年比7.2%増の85億5,500万円。市場価格はリンゴの入荷量が少ないことに加え、リンゴの食味の評価が高いことなどから記録的な高値で推移。